

2010 年度 PSC 事業報告 他

2010 年度 PSC 事業報告

(事業期間 2010 年4月1日～2011 年3月 31 日)

■2010 年度の重点活動

「新しい公共」に向けた動きに象徴されるように、NPO の社会的役割が増す中で、PSC のミッションへの一層の確信とともに将来展望が鮮明に見えてきた 1 年となった。

NPO と企業の協働推進について、「企業・市民・NPO コラボ 400」「協働アイデアコンテスト」は、多様な主体が協働することの必要性が社会に認識される機会となり、「パートナーシップ大賞」とともに協働の浸透が進んだ。また、「協働事業模擬仕分けモデル市町ワークショップ」「社会的事業者育成科」等の人材育成事業、「NPO 協働事例調査」事業等を通じた提言は、PSC の強みを活かしつつ「新しい公共」を見据えて展開することができた。新事業「ステークホルダー・ダイアログによる中小企業の活力向上」事業は、NPO 視点による CSR 支援として、中小企業への CSR 拡大に向けたコンサルティング事業として、PSC の基幹事業への展望が見えてきた。

■2010 年度の成果と課題

「PSC 中期ビジョン 5 つの事業戦略」に沿って総括する。

1. NPO と企業の協働推進

名古屋市委託の「企業・市民・NPO コラボ 400」は、出会い・マッチングの場として全国でも類を見ない企業・行政・NPO 三者による「協働フォーラム」を開催し、NPO と企業の協働推進に対する行政のあり方を提起した。自主事業である「パートナーシップ大賞」は第 7 回、「企業&NPO 協働アイデアコンテスト」は第 5 回となり、各地の NPO 支援センターの協力と応募数が拡大、定着が進んだ。

9 年ぶりに愛知県内の協働実態を把握した「NPO 協働事例調査」では、「新しい公共」における NPO と企業の協働推進のしくみを提案。「NPO と企業の協働に関する検討会議」(愛知県主催)の委員として提言策定にも参画し、協働推進のしくみづくりに向け活動を展開することができた。

2. 協働できる NPO・市民づくり

NPO 等の起業家育成を行う「社会的事業者育成科」を中心に「子育て支援 NPO 人材養成等事業」「あいち未来塾」「人づくり応援 マンパワーサポート事業」等、人材育成事業を複数展開した。「協働事業模擬仕分けモデル市町ワークショップ」は延べ 31 市町村の参加を得て、その有効性への高い評価とともに、行政と NPO の協働への意識をさらに醸成することができた。

3. NPO 視点による CSR 支援

SR(社会的責任)をめぐる動き等に対応する新事業としてスタートした「ステークホルダー・ダイアログによる中小企業の活力向上」事業は、愛知県内の 3 社を対象に実施。新しい手法により課題解決に大きな成果を上げ、中小企業の経営のあり方を示唆することができた。

4. 提言活動・他団体との連携・ネットワークの強化

SR(社会的責任)円卓会議等におけるワーキンググループメンバーとしての活動など、全国の NPO 支援センターとの連携を活かしつつ、提言活動により PSC の役割を果たした。

5. 課題

PSC として多くの事業展開をすることにより収入規模が拡大する一方、「パートナーシップ大賞」「あいち未来塾」等、継続にあたり資金調達が困難な事業もあり、課題を残した。新たなスタッフの採用により、雇用の拡大に寄与することができた。

1. 「パートナーシップ大賞」事業

1) 第7回パートナーシップ大賞

目的	NPO と企業のパートナーシップを確立し活性化することにより、新しい市民社会・新しい公共の実現に寄与することをめざす。PSC の基幹事業として持続して行く途をつけるため、本年度は大学や NPO 支援センターを協力団体とした新たなしくみによる開催方法で実施。
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・応募数 30 件 ・11 月 27 日(土)最終審査・表彰式 集客 150 名 ・第 6 回事例集を 11 月に出版
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・募集広報は、全国各地の支援センター等の協力が得られるようになってきた。再チャレンジ組の応募もあり、本事業そのものが周知されつつあることを実感できた。応募地域は 33 都道府県に広がった(第 1 回～第 7 回累計)。 ・協力団体・大学の関わりについて、役割が不明瞭な部分があり課題として残った。次年度以降の関わりについては関係者へのアンケートをもとに検討する。 ・サポーター(協賛企業および個人)をはじめ、協賛金を含めた資金確保が最大の課題。 ・最終審査当日、審査委員が 2 名欠席したため、審査に運営委員のうち 5 名が加わった。

■事業内容

①運営委員会の開催

- ・5 月 15 日(土)15:00～「募集要項と応募用紙の確認、広報について」
- ・1 月 29 日(土)15:30～「第 7 回パートナーシップ大賞ふりかえり」
- ・3 月 27 日(日)13:00～「事例集について、次回開催へ向けて」 会場:池下ピアザ

◆運営委員:面高俊文、河井孝仁、小室達章、津田秀和、藤野正弘、高浦康有、杉田教夫、横山恵子

②協力団体・大学

(N)きょうと NPO センター、(N)杜の伝言板ゆるる、(N)藤沢市市民活動推進連絡会、ソーシャルコーディネーターかながわ、北海学園大学経営学部 菅原浩信研究室、山梨大学大学院 持続社会形成専攻 長谷川直哉研究室、産業能率短期大学 松本潔研究室、金沢大学地域連携推進センター、立命館大学政策科学部 桜井政成研究室

③「第 7 回パートナーシップ大賞」の募集～グランプリ発表・表彰式の開催

- ・事前研修 :5 月 15 日(土)13:00～ 対象:協力団体・大学
- ・募集期間 :6 月 1 日(火)～7 月 31 日(土) 応募総数 30 件
- ・第一次審査:8 月 28 日(土)、29 日(日) 会場:池下ピアザ 11 事業を選出
- ・現地調査・ヒアリング調査:9 月上旬～10 月中旬
- ・第二次審査:10 月 23 日(土)、24 日(日) 会場:池下ピアザ 最終 6 事業を選出
- ・最終審査・表彰式:11 月 27 日(土)13:30～ 会場:ウィルあいち 3 階 大会議室 120 名参加(事務局含む)
- ・最終プレゼンテーション(6 事業)
- ・最終審査、グランプリ発表・表彰
- ・第 7 回グランプリ:「モバイル型遠隔情報保障システム普及」事業

(N)長野サマライズ・センター(長野県)、ソフトバンクモバイル(株)(東京都)、筑波技術大学(茨城県)

※長野サマライズ・センターは第 2 回企業&NPO 協働アイデアコンテストで最優秀賞を受賞、その後協働が成立した NPO。

「パートナーシップ大賞」事業

・ミニ講演 「電車が“つなぐ”まちの文化・人のこころ」

講師:石坂線 21 駅の顔づくりグループ代表 福井美知子氏(第 5 回パートナーシップ大賞グランプリ受賞 NPO)

・懇親パーティー

④「第 6 回パートナーシップ大賞」事例集出版

・『NPO&企業 協働の 10 年 これまで・これから』(11 月 27 日発行)

特集 PSC 創立 10 周年記念シンポジウム

第 I 部 第 6 回パートナーシップ大賞の事例から

第 II 部 データで見る第 6 回パートナーシップ大賞

⑤サポーター(協賛企業および個人)募集

三井住友海上火災保険(株)、トヨタ自動車(株)、(株)デンソー、京阪電鉄(株)大津鉄道事業部、(財)中部産業・地域活性化センター、(株)高田自動車学校遠野ドライビングスクール、(株)アバンセコーポレーション、個人会員 1 名 より協賛いただいた。

⑥協働コンサルティング

「第 7 回パートナーシップ大賞」へ応募のあった(N)日本教育開発協会(JAE)と大和ハウス工業(株)からの依頼を受け 1 月 12 日(火)、コンサルティングを行った。

<第 7 回パートナーシップ大賞 応募事業(全 30 件)>

1. NEC ワーキングマザーサロン(東京都)／(N)マドレボニータ、NEC
2. 北海道農産加工品活用ジェート開発(北海道)／(N)NOUZOU、(N)北海道ホスピタル・クラウン、(株)GO-WELL
3. マナーキッズプロジェクトの展開(東京都)／(N)マナーキッズプロジェクト、(株)三菱東京 UFJ 銀行
4. 横山マンション・リユース大会(大阪府)／セブンヒルズ千里山コミュニティ、日本通運(株)茨木支店
5. モバイル型遠隔情報保障システム普及(長野県・東京都・茨城県)／(N)長野サマライズ・センター、ソフトバンクモバイル(株)、筑波技術大学
6. ライフプランニング支援(大阪府)／(N)関西こども文化協会、(株)ロックオン
7. 車いす用雨カバー「ヌレント」開発(福岡県)／(N)クックルー・ステップ、トヨタハートフルプラザ福岡
8. ソーラーカーを用いた体感型環境教育(和歌山県・大阪府)／(N)紀州えこなびと、(株)浜田
9. 明電舎ものづくり教室(東京都)／(N)コアネット、(株)明電舎
10. ぎふ・エコライフ推進プロジェクト(岐阜県)／西濃環境 NPO ネットワーク、ぎふ・エコライフ推進プロジェクト実行委員会、丸鳥フットセンター、フットセンターミダヤ他 850 店舗
11. 高齢者介護施設ビューティーキャラバン(愛知県)／(N)全国福祉理美容師養成協会、東海ゴム工業(株)
12. 脳トレリハビリテーション(愛知県)／(N)ドリーム、健塾(こるくぼ〜ど)
13. 難病患者の医療生活相談会(静岡県)／(N)静岡県難病団体連絡協議会 ※条件が整わず辞退
14. 精神障がい者の雇用確保へ向けて(愛知県)／雇もれびの会、(株)ジーフット
15. 高齢化する村を応援するプロジェクト(東京都・大阪府)／(N)棚田ネットワーク、アストラゼネカ(株)
16. フイランド×植育イベント(京都府)／(N)アイセック・ジャパン会員団体アイセック同志社大学委員会、(株)わかさ生活
17. 知ること楽しむことやさしい暮らしのこと(東京都)／(N)夢職人、(N)くらしの助け合いの会江東しあわせ、トステム(株)
18. なら・未来創造基金 協働(奈良県)／(N)奈良 NPO センター、奈良中央信用金庫
19. ドリカムスクール(大阪府)／(N)日本教育開発協会、大和ハウス工業(株)
20. 「エコトレイン未来のゆめ・まち号」(京都府・大阪府)／(N)環境市民、阪急電鉄(株)
21. 障がい者と協働で廃食油回収 BDF 製造(鳥取県)／(N)エコパートナーとっとり、サンイン技術コンサルタント(株)、(社)もみの木福祉会、(学)かいいけ幼稚園、米子市
22. カローラ de スマイル 社会貢献(愛媛県)／(N)子育てネットワークえひめ、トヨタカローラ愛媛(株)
23. 食資源循環活動による環境のまちづくり(佐賀県)／(N)伊万里はちがめプラン、(有)北九給食センター、医療法人光仁会
24. 「未来をつなぐ夢はさみ」美容職業訓練(東京都)／(N)国境なき子どもたち、ヘンケルジャパン(株)
25. トリプルバドミントンから町づくりへ(大阪府)／みんなで作る学校とれぶりんか、(有)チャンプ
26. ビーチマネーワインプロジェクト(神奈川県・東京都)／エコサーファー、アンデス・アジア(株)
27. 坂本達さんと走ろう！夢の架け橋&講演会(愛知県)／みかわ Forest&Aqua 自然塾、(株)豊田自動織機
28. ひらかたバスターマッププロジェクト(大阪府・京都府)／(N)ひらかた環境ネットワーク、京阪バス(株)、江崎グリオ(株)
29. チャリティーハーブガーデンプロジェクト(東京都)／(N)Green Works、NEC ソフト(株)
30. うんち教室およびうんち教室研修会(東京都)／(N)日本トイレ研究所、王子ネピア(株)

2. コラボレーション事業

1) 企業・市民・NPO コラボ 400

<名古屋市委託事業>

目的	NPO と企業の協働を推進する新事業として展開。名古屋開府 400 年記念事業実行委員会主催通年事業のひとつとして PSC が企画提案、2009 年度からの継続事業。 企業・市民・NPO が参集する協働フォーラムを開催し、協働マッチングの実現を図る。
目標	・協働フォーラムのブース出展 NPO・企業 計 32 件 ・協働フォーラムの一般参加者 300 名
成果と課題	・参加者数が目標を大幅に上回ったことから、事業が大きなインパクトを与え、支持されていることが明確になった。 ・ブース出展企業・NPO のフォーラム後の経過を全て把握しきれておらず、フォローの仕方に検討が必要。

■事業内容

①運営委員会

◆運営委員

(経済団体)名古屋商工会議所、名古屋青年会議所、中部経済連合会、中部産業・地域活性化センター、中部経済同友会

(中間支援 NPO)岡崎まち育てセンター・りた、NPO 愛知ネット、ぎふ NPO センター

(行政)名古屋市

・開催日:4月9日(金)、5月26日(水)、6月17日(木)、9月2日(木) 計4回 会場:名古屋市役所

②協働事業アイデア募集:5月17日(月)~6月15日(火)

愛知・岐阜・三重県内に活動拠点・事業所のある企業と NPO を対象に、協働事業アイデアを募集。企業 14 社、NPO24 団体(1 団体は出展者説明会後に辞退)が応募。

③出展者説明会:6月30日(水)、7月1日(木) 会場:池下ピアザ

④「企業・市民・NPO 協働フォーラム」開催

- ・日時:7月16日(金) 12:00~18:00
- ・会場:名古屋国際会議場 4 階 レセプションホール
- ・参加者数:600 名(運営委員、事務局含む)
- ・ブース出展者数:企業 14 社、NPO23 団体
- ・当日の協働マッチング相談件数:194 件(うち「協働したい」54 件、「興味あり」60 件)
- ・内容:基調講演「本業を活かして NPO とコラボする〜『5 本の樹』と生物多様性」
- ・講師:積水ハウス(株)環境推進部部長・佐々木正顕氏
- ・企業・NPO 双方による協働アイデアプレゼンテーションとブース出展。協働マッチング相談。コラボ 400 事業総括など(ミニ講演 講師:岸田眞代)

2) あいち未来塾 地域プロデューサー形成事業

目的	「協働できる NPO・市民づくり」事業として 2008 年度に開塾。協働により地域の課題解決や地域活性化を図る地域活動のリーダー（地域プロデューサー／NPO 等のリーダー）の養成としくみづくりを 1 期 2 年かけて実施。
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・2 期生…卒塾認定 15 名（認定基準：本講義平均出席率 70%以上、グループ活動への貢献内容による評価） ・1 期生、2 期生ともに活動の継続または組織の拡大 ・本年度および次年度の資金調達（助成金または企業との協働等）
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・卒塾後はグループ活動（3 グループ、事業内容②に記載）の継続、または NPO 立ち上げ等、少しずつではあるが地域での活動が進みつつある。 ・3 期生募集にあたる資金調達について、あいちモリコロ基金が不採択になったことから運営方法の見直しも含め資金的な裏打ちが急務である。

■事業内容

①運営委員会の開催

第 1 回：4 月 25 日（土）15:30～、第 2 回：10 月 16 日（土）11:00～、
第 3 回：2 月 16 日（水）17:00～

◆塾長：水谷研治氏（中京大学名誉教授、東京福祉大学大学院教授）

◆運営委員：堀越哲美氏（運営委員長：名古屋工業大学大学院教授）、安藤明夫氏（中日新聞社編集委員）、服部則仁氏（医療法人愛知集団検診協会会長、NPO 法人みえきた市民活動センター理事長）、松下典子氏（NPO 法人地域福祉サポートちた理事長）、鷲見修氏（NPO 法人レスキューストックヤード理事）

②2 期生 2 年目カリキュラム（創造実践）の運営

・グループを編成し、各フィールドにて実践活動を行った。

グループ名	フィールド	テーマ	活動回数
あったかカフェ	名古屋市	地域住民異世代参加型のたまり場づくり	35 回
チーム HAPPY パパ	岡崎市	男性の育児・家事の積極的な参加を支援	10 回
チーム「いいちこにしよ」	知多市	防災をきっかけにした外国人支援	3 回

- ・グループ活動計画発表会：4 月 25 日（土）13:30～ 池下ピアザ
- ・グループ活動中間報告会：10 月 16 日（土）14:00～ 池下ピアザ
- ・グループ活動塾生相談会：5 月 13 日（木）、5 月 27 日（木）、6 月 5 日（土）、8 月 26 日（木）
- ・2 期生グループリーダー会議：9 月 9 日（木）、11 月 30 日（火）、2 月 23 日（水）
- ・活動成果発表会：3 月 5 日（土）10:00～ ウィルあいち 1 階 視聴覚ルーム
- ・卒塾式：3 月 5 日（土）11:20～ウィルあいち 1 階 視聴覚ルーム 入塾生 16 名中卒塾認定 14 名（1 名辞退）
- ・成果物：2 期生自主活動として「成果報告書」を作成
編集会議 11 月 30 日（火）17:00～ 会場：池下ピアザ

③塾生会

- ・2期生塾生会: 4月25日(土)15:30～ 池下ピアザ
- ・1期生、2期生合同塾生会: 10月16日(土)13:00～ 池下ピアザ

④資金調達

- ・あいちモリコロ基金ヒアリング12月1日(水)13:00～ 会場: 池下ピアザ
- ・2011年度活動申請公開プレゼンテーション2月26日(土)9:30～ 会場: ウィルあいち

<1期生卒塾後の活動> *中間報告会にて、卒塾後の活動を発表した。

グループ名	テーマ・活動内容等	活動地域
子どもがやるっグループ	リーダーの自団体にグループメンバーが参画。いのちの博覧会・講座等開催(全5回)	岡崎市
もりづくり会議グループ	鎮守の森の再生・活用を中心としたまちづくりが活動テーマ。なごや環境大学共育講座等開催(全3回)	名古屋市
田舎発見隊	下川口町の地域興し。あいちモリコロ基金助成を得て2011年度も活動継続予定	豊田市

<1期生・2期生 NPO 立ち上げ>

テーマ・活動内容等	活動地域
防災ボランティアのネットワーク	一宮市
男性を中心に地域でネットワークをつくり社会貢献を目指す	名古屋市

塾生のグループ活動のようすが新聞で紹介されました



(左)チーム HAPPY パパ(左)/中日新聞平成 22 年 9 月 20 日付中日新聞三河版

(右)もりづくり会議グループ/平成 22 年 8 月 14 日付中日新聞市民版

3) 第5回企業&NPO 協働アイデアコンテスト

＜(財)中部産業・地域活性化センター (CIRAC) との協働事業＞

目的	協働をより広く進めていくため 2006 年度より継続実施。優れた協働事業アイデアに CIRAC が助成金を提供、さらに協働実現により助成金をプラスする。NPO から企業へ協働事業実施の働きかけの場を設定することで、NPO と企業の協働を推進する。
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・応募数:20 件 ・最終選考会参加者:100 名 ・過去の受賞者を含め、複数の協働実現をめざす。
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼン事前指導の実施により、5 団体のプレゼンテーションの質を高めることができた。 ・過去の受賞団体で企業との協働が成立し、パートナーシップ大賞への応募につながった事業があった。(「モバイル型遠隔情報保障システム普及」事業:(N)長野サマライズ・センター、「高齢者介護施設ビューティーキャラバン」事業:(N)全国福祉理美容師養成協会)

■事業内容

①企業との協働アイデア募集

- ・募集期間:9月1日(水)～10月20日(水)
- ・中部広域9県(愛知、岐阜、三重、静岡、長野、石川、福井、富山、滋賀)のNPOを対象
エントリー期間:9月1日(水)～9月30日(木) エントリー用紙の提出
アイデア応募期間:10月1日(金)～10月20日(水)
- ・応募数:28事業(26団体) 募集地域の中部広域9県、すべての県から応募があった。

②一次審査(書類選考)

- ・11月5日(金) 10:00～13:00 会場:池下ピアザ
- ・最終選考会にてアイデアのプレゼンテーションを行う5団体を決定
◆審査担当:CIRAC 小林宏之氏・榊原元氏、PSC 岸田眞代・山崎恵美子・木内奈央

③プレゼン事前指導の実施

- ・最終選考会でのプレゼンに向けての相談、アドバイス等を実施

④最終選考会

- ・日時:12月17日(金)14:30～19:00 会場:名古屋栄ビル12階
- ・参加者数:110名(プレゼン団体、事務局含む)。
- ・アイデアのプレゼンテーションおよび審査(受賞団体、アイデア内容は下記に記載)

- ◆審査員:市原兼久氏(愛知県県民生活部社会活動推進課主幹)、久本真史氏(トヨタ自動車(株)総務部企画室グループ長)、古田真二氏(中部電力(株)経営戦略本部 CSR・業務改革推進グループ長)、草野潔人氏((財)中部産業・地域活性化センター常務理事)、岸田眞代

- ・講演会:演題「新しい社会的責任の時代へ～ISO26000 ガイダンスの意義を考える」
講師 関 正雄 氏 (株)損害保険ジャパン 理事 CSR 統括部長)

- ・交流会

⑤最終選考会后、受賞団体へのフォローアップとアイデア実現へのサポート

⑥追加助成の決定:第5回最優秀賞(N)近江八幡市中間支援センター(2011年5月助成予定)

<最終結果>

	団体名	所在地	協働事業 アイデア名	事業概要
最優秀賞	(N)近江八幡市 中間支援センター	滋賀県 近江八幡市	外来魚を利用した 「沖島よそのコロッケ」の開発、販売	琵琶湖上の沖島で捕れるブラックバスを使って冷凍コロッケをつくり、観光地食べ歩きのスナックとして販売する。
優秀賞	育児ひろば アプリコット	滋賀県 甲賀市	親子ひろば in 住宅展示場	平日昼間、空いている住宅展示場やモデルハウスで、NPO 主催の親子カフェや主婦向けイベントを開く。
特別賞	(N)悠遊くうかん木 海香の里	三重県 紀北町	ヒノキ間伐材を 活用した滞在型キ ットハウス建設	尾鷲産ヒノキ間伐材を活用したキットハウスを、都市部在住者や地元住民・企業が協働で企画開発。滞在型交流拠点とし、移住促進や地元活性化につなげる。
奨励賞	(N)魅惑的 倶楽部	静岡県 浜松市	Red Ribbon Brand	エイズ患者への理解と支援のシンボル「レッドリボン」を刺繍・プリントした衣料をアパレル企業で販売。売上げの一部はエイズ予防財団などに還元する。
	Social Guide	愛知県 日進市	ウェルカム・インフォ メーション	ハウスメーカーやライフラインに関する企業と協働で、新規住民へ地域の魅力や生活情報などを発信する。

<応募アイデア（全 28 事業）>

1. 高齢者施設での出前マーケットの開催／麦青会(静岡県裾野市)
2. 学びたい、そこが学び舎 きらめきアカデミー／(N)そうほうセンターさんさん(福井県敦賀市)
3. 民・民・産・学の協働による間伐材を活用した滞在型低価格キットハウスの建設／(N)悠遊くうかん木海香の里(三重県紀北町)
4. 命をつなぐ、野菜便／(N)セカンドハーベスト名古屋(名古屋市中区)
5. うつ病・自殺対策／(N)きぼうのじ(長野県木曾町)
6. 精神障害者の雇用確保に向けた企業・市民・障害者フォーラムの開催／雇もれびの会(名古屋市中区)
7. 別荘地での介護問題の解決／(N)福寿草(長野県茅野市)
8. 親子ひろば in 住宅展示場／育児ひろばアプリコット(滋賀県甲賀市)
9. ワークライフバランスを実現するための婚活／(N)ライフコンシェルジュ(名古屋市中区)
10. 外来魚を利用した「沖島よそのコロッケ」の開発、販売／(N)近江八幡市中間支援センター(滋賀県近江八幡市)
11. 持続可能社会構築の為の実証／(N)環境改善技術推進機構(名古屋市中村区)
12. 企業向けパーソナルエクササイズ協働／(N)健康支援エクササイズ協会(名古屋市中区)
13. 街の魅力発信／Social Guide(愛知県日進市)
14. 農商連携でこの地域の「栗文化」を具体化／(N)田舎楽園(岐阜県中津川市)
15. 環境配慮・貢献をキーワードに、森と福祉と企業が協働で、動物型入浴芳香剤を造る／(N)時ノ寿の森クラブ(静岡県掛川市)
16. 移動車利用の食育・食文化・COP 活動を含む食からのケア・ケアステーションの創設／(N)LET'S 食の絆(名古屋市中区)
17. 障がいのある子どもたちの自立を目指す放課後クラブ／(N)子ども&まちネット(名古屋市中村区)
18. 健康な人をより健康にするためのトライアングル／(N)SEIBU スポーツクラブ(富山県砺波市)
19. 水分補給の必要性を考える／(N)SEIBU スポーツクラブ(富山県砺波市)
20. 「白山の名水」を巡るコースづくり／白山地域づくり塾(石川県白山市)
21. 警備業界で若者応援プロジェクト／(N)ライフステーションあいち(名古屋市中区)
22. 社会復帰へ応援プロジェクト！～地域活動支援センター事業における生産活動～／(N)ライフステーションあいち(名古屋市中区)
23. 平成萬家繁盛記／(N)みえきた市民活動センター(三重県桑名市)
24. Red Ribbon Brand／(N)魅惑的倶楽部(静岡県浜松市)
25. 田舎暮らし体験～和太鼓による精神修養～／(N)てほへ(愛知県東栄町)
26. 廃材・テストストック品等リサイクル素材によるハンドクラフト作品創作／発達障害当事者ネットワーク(名古屋市中区)
27. いのちの学び場～学校編～／NPO Green Heart(愛知県岡崎市)
28. 赤ちゃんが乗っている車を守る「セーフティーサインステッカー」の作成／SCOP(名古屋市中区)

4) 人づくり応援 マンパワーサポート事業

<名古屋市社会福祉協議会委託事業>

目的	地域福祉活動を組織的に継続できる公益的な活動に発展させ、地域の福祉力を向上することをねらいとした人材育成事業。広く市民を対象とし、講座を通じ「助け合い・支え合い活動」に取り組む人材を発掘・養成し、NPO等の立ち上げ支援等により互助活動の活性化と共助活動の創出を支援する。
目標	<初級編>募集人数 20名の達成。助け合い、支え合い活動にはどのようなものがあるかを知り、各自が自分のやりたいこと、自分にできることを見つける。 <ステップアップ編>募集人数 20名の達成。取り組みたい助け合い、支え合い活動の事業プランを作成する。
成果と課題	・広報における訴求点およびカリキュラム変更により、新たな担い手の発掘と受講者増につながった。 ・ステップアップ編受講者のうち 14名が事業プランとして具体化する段階まで進めることができた。そのうち 3名が市社協の助成を受け活動開始(または拡大)予定(内容は下記に記載)。 ・講座を通じて活動(事業)についての知識習得、マインド育成、動機づけに成果があった。

■事業内容

①講座の実施

・初級編 13:00～17:00 会場:池下ピアザ 受講者 27名

日時	テーマ	講師
9月4日(土)	社会の変化と地域課題、課題解決の担い手 NPO	PSC 代表理事 岸田眞代
9月11日(土)	地域福祉の現場から(事例紹介) 知多地域に見る支え合いの地域づくり、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象としたまちの縁側	(N)地域福祉サポートちた理事 松下典子氏、一般財団法人まちの縁側クニハウス代表理事丹羽國子氏、(N)ほっとポケット大西優香子氏
9月25日(土)	地域づくりに参加するには 地域づくりの手法と事例紹介	(N)福祉サポートセンターさわやか愛知理事長 川上里美氏、(N)パンドラの会代表理事 岡部扶美子氏

・ステップアップ編 13:00～17:00 最終日のみ 10:00～17:00 会場:池下ピアザ
受講者 17名(初級編からの継続受講 11名)

日時	テーマ	講師
10月2日(土)	地域の課題と福祉のまちづくり、地域資源の発掘、課題解決のプロセス	(N)地域福祉サポートちた理事 松下典子氏
10月9日(土)	ひと、地域とのつながり、ネットワークをつくる	(N)地域福祉サポートちた理事 松下典子氏
10月30日(土)	支え合いのしくみづくり、活動の立ち上げ はじめの一步	(N)御用利きと出前授業代表 光武育雄氏
11月6日(土)	想いを“かたち”にする	PSC 代表理事 岸田眞代
11月20日(土)	5W2Hの整理、プランの図式化	PSC 代表理事 岸田眞代
12月4日(土)	事業計画書作成、個別相談、プレゼンテーション組み立て	PSC 代表理事 岸田眞代
12月18日(土)	事業計画発表	中小企業診断士木村敏正氏、PSC 代表理事岸田眞代

*事業プランのテーマ(事業プラン発表 14名)うち高齢者支援(6名)、障がい者支援(2名)、子育て(1名)、就業支援(1名)、コミュニティ(2名)、その他(2名)

<活動テーマ>永遠の団地を目指して(孤独死を防ぐ)、障害者の生きがいづくり、高齢者の健康づくり

5) 協働事業模擬仕分けモデル市町ワークショップ

＜愛知県社会活動推進課委託事業 ふるさと雇用再生特別基金事業＞

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・仕分け対象事業の掘り起こしから実施方法までを示し、行政職員に対し協働事業拡大のためのノウハウの獲得とプロセス理解を促す。 ・協働事業仕分けに取り組むモデル市町を育成し、周辺市町への波及拠点とする。 ・事業担当課の参加を促し、協働に対する認識を新たにして、全庁的な取り組みへと意識改革を進めていく。
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・参加自治体数 合計 30 市町村(モデル市町 2 市町村×15 市町村の参加) ・協働担当課以外の職員参加者数 14 名(モデル市町 2 市町村×7 名) ・参加職員の意識変革 アンケートで「協働に対する意欲が向上した」人 70%以上 ・参加 NPO 団体数 40 団体(モデル市町 2 市町村×20 団体)
成果と課題	行政職員の意識変革(「協働に対して意欲が向上した」人が 70%以上)については、「協働事業仕分けの有用性を認める」97.8%、「協働事業仕分けを自分の市町で実施する必要性を認める」75.6%。事業見直しの必要性についての意識付けに高い効果が得られた。

■事業内容

①モデル市町の選定 尾張部：北名古屋市、三河部：西尾市

②事前研修 各セクターの特徴と協働、協働の課題と心構えなどについての講義と、グループに分かれて協働事業を検討するワークショップを実施した。

- ・対象：各部署職員 北名古屋市 11 月 25 日（木）13:30～16:30 会場：同市役所
西尾市 12 月 14 日（火）13:30～16:30 会場：同市役所

・講義「NPO と新しい公共、各セクターの特徴と協働、協働の課題と心構え」講師 岸田眞代

③対象事業の選定 各市 3 事業。自治体が抽出した事業からコーディネーターの意見を加味し決定。

④協働事業模擬仕分けワークショップ

「なぜ事業仕分けが必要なのか」「大学や自治体における『事業仕分け』の展開や事例の見直し」などの講義の後、ワークショップで、選定した事業について仕分け委員が質疑・討議。参加者による仕分けを行った。

- ・北名古屋市 1 月 13 日（木）13:30～17:00 会場：同市役所
取り上げた事業①思い出ふれあい（回想法）事業②ふれあいフェスタ事業③国際交流協会補助金事業

・西尾市 1 月 21 日（金）13:30～16:30 会場：同市役所

取り上げた事業①名鉄西尾・蒲郡線対策事業②食育推進事業③ファミリー・サポート・センター事業

- ・内容：講義「事業仕分けの始まり、なぜ事業仕分けが必要なのか、事業仕分け結果と見直し事例、事業仕分けの展開と協働のパターン」等

ワークショップ（事業説明は当該事業担当者、仕分け委員は他市町村職員と他市町村 NPO 職員）

- ・コーディネーター：石井良一氏（滋賀大学地域連携センター特任教授）、岸田眞代

- ・参加自治体、職員、NPO 数

	参加自治体数	参加職員数・参加NPO数	計
北名古屋市	16	行政 68 名（うち北名古屋市職員 44 名□）NPO20 名	88 名
西尾市	15	行政 79 名（うち西尾市職員 50 名）NPO26 名	105 名

6) 子育て支援 NPO 人材養成等事業

＜愛知県子育て支援課委託事業 あいち・子ども NPO センターとの共同事業体＞

目的	「協働できる NPO・市民づくり」事業として、地域における子育て支援サービスの担い手である NPO 等や支援者を対象に、協働の担い手を育成する。子育て支援を始めようと思っている人、子育て支援 NPO 法人等を立ち上げようと思っている人、支援者としてスキルアップをしたい人を対象に講座・研修を行い、協働の担い手育成とレベルアップを図る。
目標	子育て支援協働フォーラム 参加者延べ 240 名(第 1 部 60 名、第 2 部 180 名)
成果と課題	講座への関心も高く、子育て分野における支援者の人材養成にはまだまだニーズがあることがわかった。「子育て支援協働フォーラム」では、ミニパネルディスカッションとマッチングボードを用いた交流を行うことで、行政と NPO・市民が情報を共有し、出合うきっかけとなった。地域の子育て支援には行政や他団体との連携が不可欠であるが、それら協働推進には、支援者のレベルアップと協働できる組織としての基盤整備が急務である。

■事業内容

共同事業体として、PSC は立ち上げ支援講座と個別相談会へ講師・アドバイザー派遣、および「子育て支援協働フォーラム」の運営を担当した。

①立ち上げ支援講座

- ・各会場 10:30～12:30、13:30～15:30、豊田市、東海市、岩倉市にて各 3 日間（延べ 9 日間）開催。受講者 52 名。
- ・講師派遣：第 1 回「NPO とは～NPO 立ち上げに必要なもの～」水野真由美、第 3 回「行政や企業との協働とは～『あいち協働ルールブック 2004』と事例発表」代表理事 岸田眞代

②スキルアップ研修

- ・各会場 10:30～12:30、13:30～15:30、豊田市、東海市、岩倉市にて各 3 日間（延べ 9 日間）開催。受講者 55 名。

③子育て支援 NPO 個別相談会

- ・各会場 10:00～12:00、13:00～17:00 豊田市、東海市、岩倉市にて各 4 日間（延べ 12 日間）開催。相談者 32 名。(来訪 29 件、電話 3 件) アドバイザー派遣・水野真由美

④子育て支援協働フォーラム

3 月 10 日（木）13:00～16:10 愛知芸術文化センター

- ・内容：第 1 部 協働マッチング交流会 ファシリテーター：代表理事 岸田眞代

自治体	テーマ・パネリスト
東海市	東海市まちづくり協働推進事業「自然と遊びの体験講座開催事業」 (N)学童保育ざりがにクラブ 理事長 鳴海汎氏、学童保育指導員 松下陽子氏
岩倉市	岩倉市子育て支援センター事業「今後の取組み紹介」 岩倉市福祉部児童家庭課 指導保育士 梶原美八子氏
豊田市	子どもの権利普及・啓発事業「手をつなごう」～思いやりのある子どもたちを育てるために (N)ナースリーハウス 代表理事 西田泰子氏 豊田市子ども部次世代育成課 主事 山田優子氏
刈谷市	地域子育て支援拠点事業(ひろば型)「すくすく広場」 (N)子育て・子育て NPO スコップ理事長 杉浦登喜子氏 刈谷市次世代育成部子育て支援課 企画担当総括(副主幹) 高野洋氏

第 2 部 基調講演「大切なことを伝える力」講師：齋藤孝氏（明治大学文学部教授）

参加者数：第 1 部 65 名、第 2 部 226 名

7) なごや環境大学協働講座

〈なごや環境大学実行委員会主催講座〉

目的	NPOと企業の協働推進として、企業のCSR担当者、企業との協働を考えているNPOの方、環境分野に興味のある方を対象に講座を実施。担当者からの事例紹介やワークショップなどを通して、活動のきっかけづくりや協働のアイデア探しを促す。
目標	・参加者:延べ100名以上 ・最終回のワークショップでは、多くの新しい協働アイデアが出されることをめざす。
成果と課題	事例紹介などを通して、協働による環境活動への関心を高めることができた。最終回のワークショップでは具体的な協働のアイデアを探すところまでは至らなかったため、今後も継続的な講座の実施が必要である。

■事業内容

企業とNPOの協働による環境活動をテーマに講座を実施。また、パートナーシップ大賞の入賞事例から環境に関するものを選び、長野県・岩手県・岐阜県の事例を紹介した。

① 講座の実施(15:30~17:30 最終日のみ14:30~17:30 池下ピアザ)

日時	テーマ	講師
5月12日(水)	協働基礎講座「協働って何？」	PSC 代表理事 岸田真代
5月19日(水)	事例紹介「水力発電を扱う企業とまちづくりNPOとの協働事例」(長野県)	NPO 地域づくり工房 代表理事 傘木 宏夫氏
5月26日(水)	事例紹介「自動車学校とまちづくりNPOとの協働事例」(岩手県)	(株)高田自動車学校 代表取締役 田村 満氏
6月2日(水)	事例紹介「廃棄物処理や環境保全分野の協働事例」(岐阜県)	(N)いびがわみずみずエコステーション 理事 岩間誠氏
6月9日(水)	ワークショップ「協働のアイデア探し」	PSC 代表理事 岸田真代

・参加者数:延べ89名(申込者数112名)

3. コーディネート事業

1) なごや環境大学

実行委員会事務局(次長)として名古屋市から業務委託を受け、2006年4月1日から継続実施。

2) 「新春交流会」の開催

新しい年のはじめに、企業の社会的な活動の取り組みの発表を兼ねた NPO との交流の場を設けた。昨年度に引き続き実施。

参加者同士の歓談に加え、昨年好評だった新春企画「協働マッチング・ゲーム」を今回も実施した。

日時:1月31日(月)18:00～ 池下ピアザ 43名参加(事務局含む)



協働マッチングアイデアがもりだくさん



新春
交流会



広報
セミナー



会計
セミナー



セミナーはどちらも大盛況でした

4. コンサルティング事業

1) ステークホルダー・ダイアログによる中小企業の活力向上

＜愛知県地域産業課委託事業 ふるさと雇用再生特別基金事業＞

目的	NPO 視点による CSR 支援として、中小企業を対象に新事業を展開した。 ISO26000 が 2010 年 11 月に発行され、ステークホルダー重視がクローズアップされてきた昨今、ステークホルダー・ダイアログ(SHD)を通じて、企業が社会や地域から求められているものを再確認し、経営改善や CSR 推進につなげ、地元中小企業の再活性化を図る。
目標	・対象企業数:尾張地区・三河地区・名古屋市で各 1 企業(業種的にも重ならないよう選定) ・企業の経営方針・経営施策の策定・改定においてステークホルダー・ダイアログの有用性を示し、関心度をアップする。 ・企業が地域の声を意識することで、理解が進まなかった CSR について理解度を高める。
成果と課題	2 社(太陽電化工業、南部薬品)改善策に対し、順次取り組んでいきたいとの意向が示され、社員の意識改革ができたことが大きな成果といえる。「中小企業の活力向上」という観点では道半ばであるが、目的達成のために 2011 年度フォローを充実するとともに、PSC の基幹事業となるよう確立していく。

■事業内容

①対象企業の選定

太陽電化工業(株)(名古屋市・めっき業)、南部薬品(株)(岡崎市・介護事業)、(株)桃の館(北名古屋市・製菓業)の 3 社を選定した。

②ステークホルダー・ダイアログ(SHD) の開催

太陽電化工業(株)	「めっき業界に誇りと夢を！みんなが働きたくなる企業とめっき業界を目指して」 10月27日(水)取引先グループ、11月18日(木)従業員グループ、 12月7日(火)地域社会グループ、1月19日(水)マルチ・ステークホルダー
南部薬品(株)	「岡崎における介護サービスの向上に向けて南部薬品の果たす役割を考える」 11月4日(木)地域社会グループ、11月29日(月)従業員グループ、 12月15日(水)取引先グループ、1月28日(金)マルチ・ステークホルダー
(株)桃の館	「桃の館が持続可能な企業となるために」 11月19日(金)従業員グループ、12月10日(金)社内他部署グループ、 1月14日(金)取引関係グループ、2月4日(金)マルチ・ステークホルダー

③改善案(提案書)の作成

SHD で出された意見等を基に、経営改善・CSR 推進の視点から、3 社それぞれに対して改善案(提案書)を作成した。

④経営トップ層への改善策提示、意見交換

- ・太陽電化工業(株)：社長への提案説明 3月23日(水) 木村敏正氏、岸田眞代
- ・南部薬品(株)：社長への提案説明 3月28日(月) 木村敏正氏、岸田眞代
- ・(株)桃の館：竹迫部長への説明 3月30日(水) PSC 森下、岡田

⑤従業員向け説明会と研修実施

- ・太陽電化工業(株)：3月31日(木) 木村敏正氏、岸田眞代
- ・南部薬品(株)：3月28日(月) 木村敏正氏、岸田眞代
- ・(株)桃の館：東日本大震災の影響により、次年度に延期

⑥2011 年度の対象企業募集に向け、パンフレット作成

2) 保養所コンサルティング

＜愛知県都市職員共済組合＞

目的	2009 年度に引き続き、提案書に基づき利用率アップ、収益性の向上を図る計画立案と実施の指導。
目標	利用者数の確保(基準年 2006 年度比)、収益性の向上 自立へ向けた職員の能力アップ
成果と課題	「誰もが何でもできる」職場の実現を目指して、人員配置を見直し、大幅な人事異動を敢行。サービス意識の向上などお客様意識の強化を図った。結果、職員 9 名全員が「接遇・サービス検定」3 級合格という快挙。最大の課題であった利用者数も昨年よりは増やすことができ、一定の成果を収めることができた。懸案の施設の存続については、次年度以降当事者の判断に委ねることになった。

■事業内容

2008 年度の改善提案を基に、愛知県都市職員共済組合の保養施設の落ち込んだ利用者を回復していくためのコンサルティングと、それを実現していく職員の能力アップを図るための研修等を実施した。「組織運営の効率化」と「誘客活動」の実施計画立案と工程、スケジュールの確定、その運営の指導。

①月例経営会議:計 12 回(当初予定 9 回)

保養所支配人・副支配人・事業責任者と共済組合の事務局担当者と PSC で毎月定期的に会議を開催。経営状況の把握・分析と方針等について協議し、計画策定や進行管理を行った。

担当：4・5 月 渡部政喜 6 月以降 代表理事 岸田眞代

4 月 26 日(月)	利用客実績と年間利用客数実績の確認、現状と予約状況の確認、2010 年度の目標値の確認、アクションプラン策定、実行状況と現状の確認、必要なフォローアップ項目の確認
5 月 17 日(月)	利用客実績の確認、目標値との比較、予約状況と次月以降の現状、新体制の状況、決定事項の実行状況と現状の確認、必要なフォローアップ項目の確認
6 月 14 日(月)	月例ミーティングの目的と進め方、年間事業計画にもとづく実績と目標の明確化、計画の具体化のために
7 月 8 日(月)	実績と今後の動向、年間事業計画と目標の明確化、計画の具体化
8 月 23 日(月)	建て直しの検討、実績と今後の動向、事業計画の検討と目標の明確化、秋の計画の具体化
9 月 6 日(月)	実績と今後の動向、夏休みバイキング等の成果と課題、決定事項・検討事項等のその後、秋のイベント等の計画、営業および目標達成に向けての取り組み、研修(個別目標設定)について
10 月 4 日(月)	実績と今後の動向、決定事項の実施状況、接遇サービス検定受験について、営業日数変更に伴うシフト組みについて、イベント案等の検討
11 月 8 日(月)	実績と今後の動向、345 日体制に伴うシフトの妥当性、シフト組に関する留意点および今後のイベント案等の検討
12 月 6 日(月)	接遇サービス検定、PSC による覆面調査の結果報告、次年度 345 日体制に伴う組織・イベント案の検討
1 月 17 日(月)	組織リーダー(管理者)としての役割とあり方について学習(リーダーとは、問題・課題とその解決に向けて)
2 月 14 日(月)	担当課長会議報告、2011 年度予算を踏まえた課題検討、次年度 346 日体制へ向けての各部署の検討課題など
3 月 7 日(月)	職員の課題に関する認識度、リーダーシップ評価表に基づく自己分析)、2011 年度委託業者現状報告、月例会議、職員研修のあり方など

②職員研修:計 10 回(当初予定 9 回)

実践的な企画力養成や組織力アップをめざし、各部門ごとの課題抽出とイメージ共有、個人ごとの目標づくり、接遇・サービス検定に向けての学習や対策などを行った。

・担当:代表理事 岸田眞代 (一部 山田敏世先生)

4月19日(月)	組織とリーダーについて基本知識、自己評価表の配布、直面する課題の提案、「思いつきノート」提出
5月24日(月)	「思いつきノート」提出、現状認識の共有、変更事項の検討・確認（接遇・電話対応確認、シフトについて等）、イベント企画検討
6月21日(月)	「思いつきノート」提出、現状認識の共有（経営会議報告）、各変更後に生じた課題の共有と対応策（接遇・電話対応、シフトと効率化等）、イベント企画（9月以降）の具体化
7月12日(月)	「思いつきノート」提出、サービス全般についてレクチャー、接遇サービス筆記試験の実施、面接のポイントレッスン
9月13日(月)	各自の目標を明確にする事を目的としたプレゼン（個別面接）
10月25日(月)	11月接遇サービス検定受験に向けての対策
11月15日(月)	来年度からの345日体制作りのため部門ごとに抽出した課題について、改善に向けた具体案を討議および発表
1月24日(月)	部門ごとに問題・課題を明確にし、1年後のイメージを共有。リーダーに対するリーダーシップ評価の実施
2月28日(月)	予算を踏まえた課題検討、リーダーシップ評価表からの自己分析、コンセプトづくり、部門別協議と全体討議
3月14日(月)	経営会議を踏まえての各部門来期目標の設定とその共有、個人の目標設定項目の明確化と来期の個人目標づくり

3) 三井住友海上「NPO カフェ・アイリス」支援

2010年度より新体制(社会福祉法人ゆめネット)での運営。

月1回の定例運営会議ほか、カフェへの関わり方をより深めるとともに、利用者数アップを目指した。

運営会議：5月20日(木)、6月17日(木)、7月15日(木)、8月25日(水)、9月2日(火)、
10月13日(水)、11月19日(金)、12月21日(火)、1月19日(水)、2月18日(金)、
3月22日(火)

4) PSC 会員向け学習会・相談会

会員向けに、学習会や相談会を開催した。

日時	テーマ	講師	参加者数
9月14日(火) 18:00～20:00	NPO 法人会計基準	NPO 会計支援センター代表 荻野俊子氏	43名 (事務局含む)
12月17日(金)	新しい社会的責任の時代へ～ISO26000 ガイダンスの意義を考える	(株)損害保険ジャパン理事 CSR 統括部長 関 正雄 氏 *第5回企業&NPO 協働アイデアコンテスト最終選考会内にて実施	110名 (事務局含む)

5) NPO・企業・行政各種相談等

①NPO 相談等: 雇もれびの会、(N)ドリーム、(N)あいち・子ども NPO センター、
(N)全国福祉理美容師養成協会

②企業 CSR 相談等: 中部電力環境懇談会 6月10日(木)、12月8日(水)、
東海ゴム工業「CSR 報告書」ヒアリング 8月25日(水)、富士ゼロックス、日本政策金融公
庫名古屋支店、三井物産、ステップコーポレーション 7月29日(木)、11月5日(金)

5. 教育啓発事業

1) 緊急人材育成支援事業「社会的事業者育成科」＜中央職業能力開発協会委託事業＞

目的	「協働できる市民づくり、企業から NPO への流れの創出」事業として、社会的事業分野(NPOを含む)について理解し、社会的事業の起業や就労に向けた基本的な知識とスキルを習得するための、失業者向け委託訓練を実施する。
目標	・出席率:80%以上、パートナーシップ・コーディネーター認定試験の平均点 70 点以上 ・起業・就職率:7 割以上(講座修了から 3 ヶ月以内)
成果と課題	・出席率:80.1%、認定試験の平均点:73.3 点(19 名に認定資格授与) ・2011 年 1 月末(修了から 3 ヶ月以内)時点で、「就職(起業)した」が 13 名(うち起業 3 名)、「就職していない」が 4 名、「他の訓練受講中」が 3 名、「未回答(返答なし)」が 2 名。「他の訓練を受講」を除く修了生 19 名に対する起業・就職率は、68.4%。 ・受講生の目的意識などが個々に異なること、かつ、長期間の講座であることを踏まえ、今後は講座カリキュラムの構成や受講生のモチベーション維持のための工夫が必要。

■事業内容

① 募集と選考：応募者 29 名

【一次募集】3 月 1 日(月)～4 月 5 日(月) 【選考】4 月 7 日(水)

【二次募集】4 月 8 日(木)～4 月 19 日(月) 【選考】4 月 21 日(水)

② 訓練期間：5 月 6 日(木)～10 月 30 日(土)(計 100 日間/計 600 時間) 池下ピアザ

- ・社会的事業に関する知識や CSR(企業の社会的責任)の知識などとともに、実務に即した知識や技能の習得(企画づくり、フィールドワーク、事業計画の立て方等)
- ・ワークショップや実際の申請書類を使った実習、パソコン研修や県内各分野の NPO にインターンしての実習

【学科】社会的事業・NPO の基礎知識、事例研究、運営・会計の基礎知識、設立体験談等	面高俊文氏、市川博美氏、加藤歌子氏、河井孝仁氏、川上里美氏、小室達章氏、服部則仁氏、早坂毅氏、三品雅義氏、岸田眞代ほか
【実技】現場実習、パソコン演習、企画づくり、フィールドワーク、事業計画作成、起業準備等	面高俊文氏、木村敏正氏、堀越哲美氏、山崎英夫氏、井田克一氏、岸田眞代、村田正嗣、(現場実習)NPO など 14 団体

受講者 25 名(体調不良・家庭の事情などによる途中退校 3 名、修了者 22 名)

2) 緊急人材育成支援事業「社会的事業コーディネーター養成科」

＜中央職業能力開発協会委託事業＞

目的	「社会的事業者育成科」に続き本講座では、さまざまな場面において必要とされる「コーディネート・スキル(調整力、まとめ力)」の習得も大きな目的とした。 社会的事業分野(NPOを含む)について理解し、コーディネーターとしての基礎を身につける。「社会的事業分野での自立(起業含む)」や「コーディネート・スキルが活かせる職場への就労」を目指し、失業者向け委託訓練を実施する。
目標	出席率と STEP1～3 の終了時に行うテストの点数がそれぞれ 7 割以上 起業・就職率:7 割以上(講座修了から 3 ヶ月以内)

■事業内容

①募集と選考：応募者 23 名

【一次募集】2010年11月15日（月）～2011年1月6日（木）

【二次募集】2011年1月8日（土）～2011年1月24日（月）

②訓練期間：2月7日（月）～8月5日（金）（計100日間／計600時間）池下ピアザ

【STEP1:理解】社会的事業(NPO含む)に関する知識やコーディネーターとしての基本知識を習得する。

【STEP2:参加】講義とワークの繰り返し等を通して、コーディネートにかかわる様々なスキル(傾聴、プレゼンテーション、ファシリテーション、文章力、広報力、企画づくり等)を身に付ける。

【STEP3:実践】事業計画または論文の作成を通して、修了後の各自の方向性を見出す。

【学科】社会的事業・NPOの基礎知識、事例紹介(NPO／コーディネーター)、NPOのマネジメント、NPOの会計、設立体験談等	面高俊文氏、市川博美氏、加藤歌子氏、河井孝仁氏、川上里美氏、小室達章氏、服部則仁氏、荻野俊子氏、松下典子氏、水谷久美氏、岸田眞代ほか
【実技】現場実習、パソコン研修、フィールドワーク、テーマ研究、事業計画作成等	面高俊文氏、木村敏正氏、堀越哲美氏、山崎英夫氏、井田克一氏、岸田眞代、(現場実習)NPOなど7団体

受講者 19 名（合格者 20 名、入校前の辞退 1 名）

3) 株式会社 デンソーユニティサービス「ビジネスマナー&マインド研修」

10年目を迎えた「ビジネスマナー&マインド研修」。社員ほぼ全員の研修を終了。

9月9日（木）、11月18日（木）

4) その他講師派遣等

行政や企業、各団体等からの要請に応じて講師を派遣した。

①6月16日（水）：サロン・ド・オランジュ

②7月25日（日）：大津市市民活動センター「NPOと企業のコラボが地域を救う！」

③9月29日（水）：東京都大田区コーディネーター養成講座

④10月18日（月）：而立会（愛知県内の印刷業界若手経営者の会）「NPOとのコラボが企業を救う！」

⑤11月24日（水）：静岡県研修

⑥12月2日（木）：静岡県研修（韮山町）

⑦12月19日（日）：「環境・持続社会」研究センター（JACSES）環境リーダーのための実践的戦略講座（東京）

⑧1月22日（土）：インキュベクス（横浜）講演

⑨1月25日（火）：中部経済産業局フォーラム（パネリスト）

⑩2月3日（木）：三井物産ステークホルダー・ダイアログ（SHとして）

⑪2月17日（木）：明治大学塚本ゼミ（講義）、NPOと行政フォーラム（横浜）

⑫2月22日（火）：埼玉県「NPOと企業の協働フォーラム」講演

⑬2月24日（木）：尾張旭市職員NPO基礎研修（講師：水野）

⑭2月26日（土）：福井市協働セミナー講演

⑮3月6日（日）：浜松市市民協働センター・スタートアップ講座「協働って何だろう」

⑯3月16日（水）：焼津市「企業と市民活動団体の交流会」講演

※⑬は水野、その他は岸田が担当。

6. 調査研究事業

1) NPO 協働事例調査

＜愛知県委託事業 緊急雇用創出事業基金事業＞

目的	NPOと行政の協働、NPOと企業の協働について実態を調査し、結果と分析、事例紹介とともに協働のさまざまなあり方や協働推進のための課題と提言を報告書(事例集)にまとめる。
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・企業向けアンケートの回収 回収率 30%以上 ・ヒアリング調査事例について、NPOと行政の協働、NPOと企業の協働併せて 20 事例以上 ・NPOと行政の協働について、協働推進のための意識変化や条件づくりとなるものを提示 ・NPOと企業との協働について、愛知県内の新たな協働事例の掘り起こしを含め協働のさまざまなあり方を提示
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査およびヒアリング調査に PSC 独自の視点を加えて分析を行うことができた。また、協働のあり方についての課題とともに「新しい公共」の観点からも協働の方向性を提示、協働推進のしくみとして具体的に提案することができた。 ・新規雇用者が定着しなかったこともあり、全体的に実施が遅延した。分析段階でもっとも滞ったことから、今後は、専門家で構成する検討委員会等をテーマごとに設置し、開催回数を増やすなど、PSC の専門性を発揮できる体制にて進めていく必要がある。

■事業内容

①検討委員会の開催

- ・企業と NPO との協働調査において、企業、NPO 双方の立場から客観的に検討を進めるために検討委員会を設置した。
- ・検討委員:中部産業・地域活性化センター専務理事 小林宏之氏、名古屋青年会議所副理事長 山下寛高氏、あいち骨髄バンクを支援する会理事 水谷久美氏、面高俊文氏、岸田眞代
- ・開催日時:第 1 回:8 月 9 日(月)15:00~17:00、会場:池下ピアザ
第 2 回:10 月 6 日(月)15:00~17:00、会場:池下ピアザ
第 3 回:12 月 21 日(火)16:00~19:00、会場:池下ピアザ

②アンケート調査および分析

- ・行政との協働・・・愛知県が収集した 2009 年度の協働事例(1326 事業)を対象
- ・企業との協働・・・中部産業・地域活性化センター、名古屋青年会議所および前回調査先、PSC 会員企業等 1179 社に発送。388 通回収。・企業向けアンケートの回収 回収率 32.9%。
調査期間 9 月 1 日(水)~21 日(火)

③ヒアリング調査

・NPOと行政の協働、NPOと企業の協働併せて21事例の調査を実施した。

・行政との協働・・・調査期間:10月～12月

【調査先】

- ①愛知県健康福祉部子育て支援課、市民フォーラム21・NPOセンター／病児・病後預かり促進事業
- ②名古屋市環境局環境都市推進課、エコデザイン市民社会フォーラム／EXPOエコマネー運営補助、カーボンオフセット事業
- ③豊橋市教育委員会教育部青少年課、外国人就労支援センター／外国人の就労支援事業
- ④岡崎市市民活動総合支援センター、岡崎まち育てセンター・りた／地域交流センターの指定管理
- ⑤一宮市企画部地域ふれあい課、138NPO～一宮の市民活動育ちあいネット～／市民活動の未来創造事業
- ⑥新城市産業・立地部森林課、森林真剣隊／市民参加の森づくり事業
- ⑦愛西市福祉部社会福祉課、夢んぼ、共生会／愛西市障害者地域生活支援センター事業委託
- ⑧北名古屋市福祉部高齢福祉課、シルバー総合研究所／回想法スクール業務委託事業
- ⑨みよし市市民協働部市民活動支援課、あいちNPO市民ネットワークセンター／協働によるまちづくり推進業務
- ⑩刈谷市福祉健康部障害福祉課、パンドラの会／障害者就労相談支援事業

・企業との協働・・・調査期間:11月～12月

【調査先】

- ①石川マテリアル、中部リサイクル運動市民の会／リユース&リサイクルステーション運営事業
- ②河村電器産業、アクティブシニアネットせと／NPOの野菜販売支援の取り組み
- ③サーラコーポレーション、穂の国森づくりの会／林業体験・山林整備活動支援事業
- ④三晃社、久屋・エコまちネット／マルハチ・プロジェクト
- ⑤中京医薬品、南遊の会／ベトナム・カンザー地区におけるマングローブ林再生事業
アジア保健研修所／派遣海外ボランティア活動
- ⑥東海ゴム工業、全国福祉理美容師養成協会／ビューティーキャラバン
- ⑦東海リソース、バイオものづくり中部／食品廃棄物等を利用したカスケードリサイクル事業
- ⑧豊田自動織機、みかわ Forest&Aqua 自然塾／坂本達さんと走ろう！夢の架け橋&講演会
- ⑨南部薬品、福祉工房あいち／障がい者の自助具開発と販売への取り組み
- ⑩花丘商事、豊田・加茂菜の花プロジェクト／豊田・加茂菜の花プロジェクト
- ⑪ヤマサ総業、生活応援隊／困りごとを解決する地域の助け合い

④事例集(報告書)作成

7. 情報発信事業

1) 「PSC Report」の発行(奇数月 1 日)

Vol.	発行日	内容
71	5月1日	社会的事業者育成科紹介、コラボ 400 協働フォーラム開催決定、P 賞サポーター募集、カフェ・アイリスリニューアルオープン、2009 年度の主な事業、PSC 会員(NPO 法人花*花)紹介他
72	7月1日	第7回パートナーシップ大賞募集、2010 年度主な事業決定、2010 年度役員紹介、コラボ 400 協働フォーラム開催告知、マンパワーサポート事業受講生募集他
73	9月1日	コラボ 400 協働フォーラム開催報告、会計基準学習会開催告知、協働アイデアコンテスト募集、NPO 協働事例調査協力依頼他
74	11月1日	第7回パートナーシップ大賞・最終6事業決定、社会的事業者育成科修了、SHD 本格始動、NPO 協働事例調査ヒアリング開始、広報スキルアップセミナー受講者募集、協働アイデアコンテスト最終選考会告知他
75	1月1日	新年あいさつ、第7回パートナーシップ大賞最終審査およびグランプリ発表・表彰式開催報告、第6回パートナーシップ大賞事例集発売、第5回企業&NPO 協働アイデアコンテスト最終選考会開催報告、NPO のための広報スキルアップセミナー開催報告、新春交流会開催案内他
76	3月1日	ステークホルダー・ダイアログ3社で終了、社会的事業コーディネーター養成科開講、協働事業模擬仕分けワークショップ 2 会場で開催、第8回パートナーシップ大賞開催告知、PSC 会員(社会福祉法人ゆめネット)紹介他

2) ホームページの運営 & メーリングリストの活用

新着情報の更新、「PSC Report」の WEB 公開(HP)、ML の整備。

3) 各種報告書・ポスター・リーフレット等の発行

- ・「第5回企業&NPO 協働アイデアコンテスト」アイデア募集ポスター・チラシ、最終選考会案内チラシ
- ・「第7回パートナーシップ大賞」募集ポスター・チラシ、最終審査および表彰式開催告知チラシ
- ・「企業・市民・NPO コラボ 400」協働アイデア&ブース出展者募集チラシ、協働フォーラム開催告知ポスター、協働フォーラム当日パンフレット
- ・マンパワーサポート事業まちづくり活動人材育成講座チラシ
- ・書籍『第6回パートナーシップ大賞受賞事例集 NPO&企業 協働の10年 これまで・これから』(サンライズ出版)
- ・「社会的事業コーディネーター養成科」受講生募集チラシ
- ・PSC 新春交流会開催案内チラシ
- ・子育て支援協働フォーラム開催案内チラシ

8. 提言活動

1) 行政各種委員としての提言活動

- ①愛知県「NPOと企業の協働に関する検討会議」:6月2日(水)、8月6日(金)、10月20日(水)、
12月22日(水)、2月15日(火)
- ②愛知県「NPOと行政の協働に関する実務者会議」:6月24日(木)、9月8日(水)、11月29日(月)、
1月17日(月)
- ③なごや環境大学:4月14日(水)、総会5月10日(月)、7月14日(水)、9月7日(火)、11月16日(火)、
全体会議11月30日(火)、1月18日(火)、3月8日(火)
- ④名古屋市公共事業評価監視委員会:現地視察8月5日(木)、11月2日(火)、11月16日(火)
- ⑤名古屋市交通問題調査会:4月16日(金)、4月23日(金)、5月28日(金)、6月30日(水)、
7月27日(火)、8月27日(金)、1月27日(木)
- ⑥名古屋市議会議員報酬委員会:1月18日(火)
- ⑦名古屋開府400年記念事業実行委員会:総会4月12日(月)
- ⑧東海市まちづくり推進事業審査員:一次審査6月14日(月)、二次審査6月26日(土)
- ⑨淡海ネットワークセンター「未来塾」:入塾式6月13日(日)、研修12月11日(土)
※②と⑧は水野、その他は岸田が担当。

2) ウィルあいち(指定管理者の一員として)

定例運営会議への参加:5月19日(水)、6月23日(水)

3) 各団体との連携

- ①日本NPO学会(理事)
- ②社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク(NNネット):幹事会・共有会議10月19日(火)
- ③SR円卓会議:6月11日(金)、7月6日(火)、9月3日(金)
- ④NPOサポートセンター:全国幹事会・開所式8月30日(月)
- ⑤言論NPO全体会:8月30日(月)
- ⑥NPO法人会計基準協議会:総会4月8日(木)、7月20日(火)
- ⑦日本NPOセンターCEO会議:7月20日(火)、21日(水)
- ⑧大阪ボランティア協会「早瀬昇さん、これからもよろしくね、の会」:7月24日(土)
- ⑨愛フェス2010出展:9月4日(土)、5日(日)
- ⑩市民セクター全国会議:11月22日(月)、23日(火・祝)
- ⑪ボランティアネイバーズ行政研修(ゲスト):10月14日(木)
- ⑫全国福祉理美容師養成協会活動報告会:11月28日(日)
- ⑬日本NPOセンター:広報スキルアップセミナー(12月9日(木)) 参加者72名
- ⑭「地域円卓会議 in 茨城」参観:2月18日(金)
- ⑮愛知県「人材養成コーディネート推進事業」ヒアリング(アスクネット):3月11日(金)
- ⑯東日本大震災に関する緊急集会(第1回)参加:3月14日(月)
- ⑰「新しい公共」会議:12月10日(金)、3月15日(火)
- ⑱(N)「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議(ESD-J)取材:3月19日(土)

センターの運営に関する活動

1) 定時総会

- ・日時:5月29日(土)13:30～
- ・場所:ウィルあいち
- ・内容:2009年度事業報告の承認
2009年度決算報告の承認
2010年度事業計画案の審議・承認
2010年度収支計画案の審議・承認
役員の改選
- ◆総会時に合わせて、講演会および懇親会を実施した。
講演会:「環境の視点からの名古屋のまちづくり」
堀越哲美氏(PSC理事、名古屋工業大学大学院教授)
懇親会(講演会終了後、同会場にて実施)
- ・参加者:95名(出席33名、委任状62名)

2) 理事会

- ・第1回 5月18日(火) 池下ピアザ 2009年度事業報告・収支決算報告(案)、2010年度事業計画(案)、2010年度収支予算(案)、役員の改選について
- ・第2回 5月29日(土) ウィルあいち 2009年度事業報告・収支決算報告、2010年度事業計画(案)、2010年度収支予算(案)、役員の改選について
- ・第3回 11月2日(火) 池下ピアザ 2010年度事業報告・収支決算報告(中間)
- ・第4回 1月7日(金)～8日(土)ウィルあいち(新春合宿にて開催)
2010年度事業報告・収支決算報告(中間)、次年度事業計画検討
- ・第5回 3月30日(水) 池下ピアザ 2010年度事業報告・収支決算報告

3) シニアボランティア会議

月1回の定例会を中心に、PSCの事業との連携を図った。

4月22日(木)、5月20日(木)、7月1日(木)、8月19日(木)、9月16日(木)、10月21日(木)、11月25日(木)、12月16日(木)、1月20日(木)、2月17日(木)、3月17日(木)

4) 事務局運営

原則として、毎月第一月曜日に事務局会議の定例開催。

5) 年次報告書発行

2009-2010年次報告書を発行した(5月29日)。